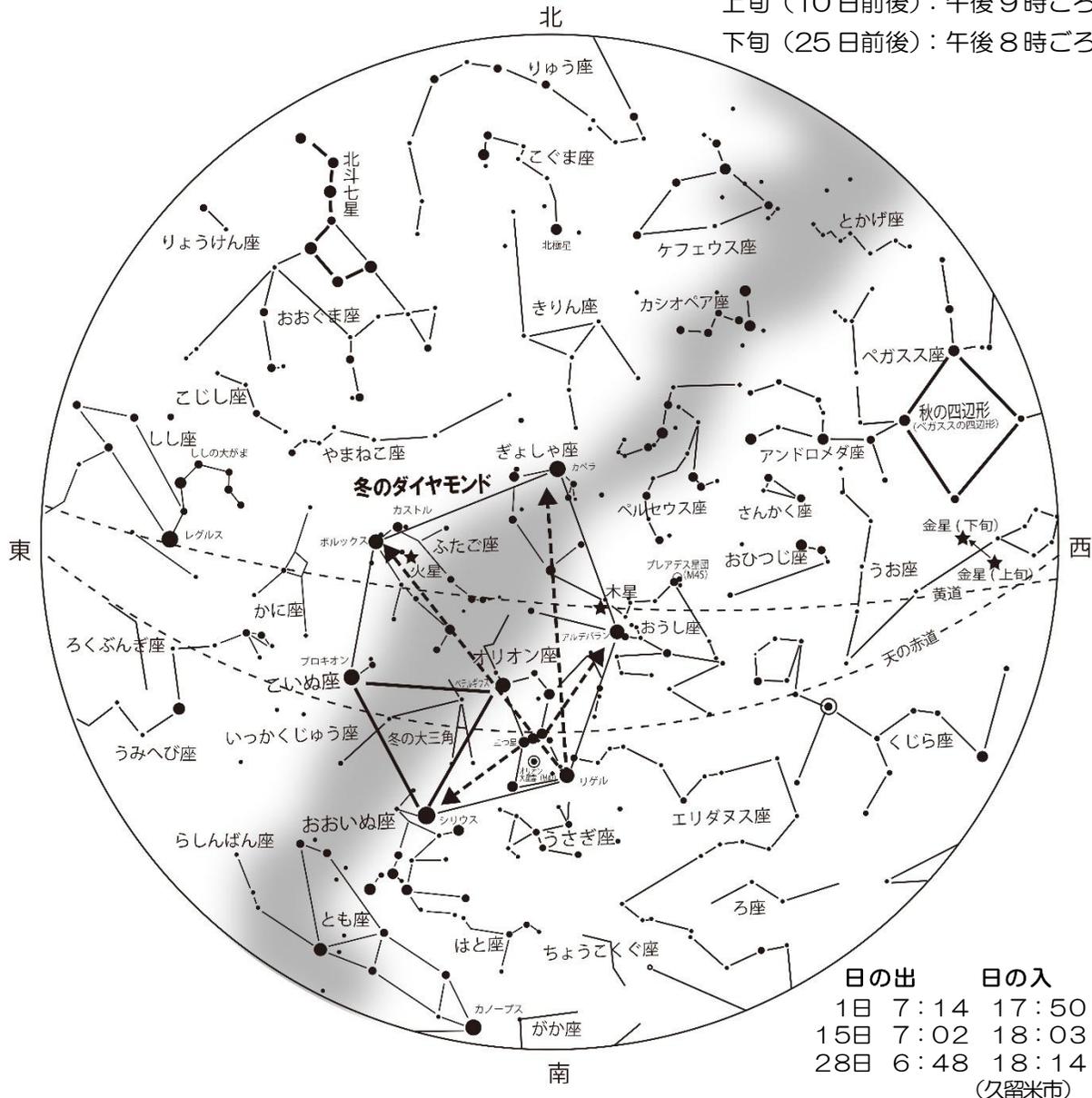


# 令和7年 2月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～

上旬（10日前後）：午後9時ごろ  
下旬（25日前後）：午後8時ごろ



★2月の星空案内立春を過ぎれば、暦の上では春ですが、まだまだコートを手放せない寒さが続いています。皆さんいかがお過ごしでしょうか？寒さに負けず、今月も夜空を見上げて、星空さんぽを楽しんでみませんか？

2月の星座さがしは、等間隔に並んだ3つの星“三つ星”と、それを取り囲む明るい4つの星がつくる砂時計のような星の並びのオリオン座を見つけるところからスタートです。オリオン座には明るい1等星が2つあります。オリオン座の左上で赤っぽく輝く星は1等星のベテルギウス、そして、右下で青白く輝く星は1等星のリゲルです。オリオン座のリゲルと、これからご紹介する5つの星座にある1等星を線でつなぐと『冬のダイヤモンド』を見つけることができます。

まずはオリオン座の“三つ星”を南東（左下）にのばしていくと、1等星のシリウスが見つかります。このシリウスを目印に見つけることができる星座がおおいぬ座です。シリウスは星座を形づくる星の中で最も明るい星です。次に、シリウスから北東（左上）に目線を移すと1等星のプロキオンを見つけることができます。プロキオンを目印に見つけることができる星座がこいぬ座です。そして、オリオン座のリゲルからベテルギウスを結んだ線をのばしていくと、1等星のポルクスを見つけることができます。ポルクスを目印に見つけることができる星座がふたご座です。オリオン座のリゲルから右上の星を結んだ線をのばしていくと、ここには黄色っぽく輝く1等星のカペラを見つけることができます。カペラを目印に見つけることができる星座がぎょしゃ座です。最後に、オリオン座の“三つ星”を北西（右上）にのばしていくと、1等星のアルデバランが見つかります。アルデバランを目印に見つけることができる星座がおうし座です。オリオン座のリゲル、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、ふたご座のポルクス、ぎょしゃ座のカペラ、おうし座のアルデバランをつないだ星の並びが『冬のダイヤモンド』です。

『冬のダイヤモンド』を形づくる1等星はとても明るく、街明かりの中でも見つけることができます。暖かい服装で『冬のダイヤモンド』をぜひ探してみてください

## 【惑星の見え方】（☆マークは、今月のおすすめです。）

- 水星（-1.3等前後）：やぎ座→みずがめ座 観望に適さない。
- ☆金星（-4.8等前後）：うお座 日の入り後、南西から西の空で輝く。
- ☆火星（-0.7等前後）：ふたご座 宵の頃、東から南東の高い空で輝く。
- ☆木星（-2.4等前後）：おうし座付近 宵の頃、南東から南西の高い空で輝く。
- 土星（1.1等前後）：みずがめ座付近 観望に適さない。

## 注目の天文現象(2月) ～カノーパスを観察するチャンス！～

りゅうこつ座のカノーパス(-0.7等)は、おおいぬ座のシリウス(-1.5等)に次いで、夜空で2番目に明るい恒星ですが、実際は、空低いところに見えるので、1等星とは言え、かなり暗く見えます。

日本の多くの地域でカノーパスの南中高度(南の空で最も高くなる時の高度)は大変低く、非常に見つけにくいです。カノーパスを見ることができる北限は、平地では、計算上北緯 37.9度となり、おおむね福島県北端付近で、それより北の地域では地平線より上に昇らず、見ることはできません。南に行くほどカノーパスの南中高度は高くなり、見つけやすくなります。

夜更け前にカノーパスが南中する2月は、カノーパスを見つけるチャンスです。よく晴れた夜、南の空が開けた場所でカノーパスを探してみましょう。うまくいけば、南の地平線近くの低い空にカノーパスを見つけることができます。(福岡のカノーパスの南中時刻は1日 22:55、11日 21:16、21日 20:36です)

カノーパスを探すには、図のように、冬の大きな三角やおおいぬ座のシリウスを目印にするとよいでしょう。カノーパスは薄黄色に輝く恒星です。ただ、空の低い位置に見えるときには地球の大気の影響を受け、実際の明るさよりも暗く、赤みがかった色に見えます。

中国では、カノーパスを長寿と幸福をつかさどる神様に見立てて「南極老人星」と呼び、この星を見ると寿命が延びる、という言い伝えがあるそうです。皆さんもチャレンジしてみませんか？

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
3	月	立春	15	土	金星が最大光度(-4.9等)
5	水	☾上弦 (17:02)	21	金	☾下弦 (02:33)
12	水	☉満月 (22:53)	28	金	●新月 (09:45)